

会 議 議 事 録

1	会議名	第7回長岡市スポーツ施設整備基本構想委員会
2	開催日時	平成20年11月26日 午後6時30分から8時00分まで
3	開催場所	長岡市市民体育館会議室
4	出席者名	委員：山本委員長、大橋副委員長、金澤委員、小林委員、高野委員、立川委員、西原委員、丸山委員、矢野委員、山田委員
5	欠席者名	篠田委員、和田委員
6	議題	(1) 長岡ニュータウン運動公園整備計画（案）について 資料No.1 (2) スポーツ施設整備基本構想について 資料No.2
7	審議結果の概要	長岡ニュータウン運動公園整備計画の進捗状況を説明し、スポーツ施設整備基本構想について検討した。
8	審議の内容	
	事務局	○議題 (1)長岡市ニュータウン運動公園整備計画（案）について 長岡ニュータウン運動公園整備計画(案)の地元説明会を12月18日（木曜日）にニュータウンセンターで行う。資料No.1はその際の資料となる。 整備予定地は高低差がある土地であるため、施設ごとに段差が生じてしまうが、スロープなどを効果的に配置したい。
	委員	敷地周辺に樹木を植え、木陰などを作ってはどうか。
	事務局	敷地の外周や施設間に樹木を配置するなど、スポーツをしない人にとっても憩いの場となるよう整備し、地元の方にとっても、近くにあって喜ばれるような公園にしたい。
	委員	ナイター照明についてはどのような考えか。
	事務局	住宅地であるため、近隣住民に迷惑にならないよう敷地の中央に配置したい。具体的にはサッカー場、野球場、ソフトボール場にそれぞれ設置したい。先ほど話のあった樹木については、遮光の効果も含めて検討したい。
	委員	工事の期間はどれくらいになるのか。
	事務局	1期工事は概ね2年を予定している。1期工事終了後に引き続き2期工事へと入っていきたい。
	事務局	(2) スポーツ施設整備基本構想について 前回の内容から大きな変更点はないが、アンケート調査の結果を含めて記載した。
	委員	例えば、スポーツ教室に参加する人はトレーニング施設を無料にするなど、教室に参加する人を優遇するようなことも必要なのでは。
	事務局	空き時間を減らし利用を増やす工夫として、使用料の減免などと併せて検討したい。また、使用料については、合併した各地域は無料の施設が多いため、今後適正な使用料に統一を図りたい。 その中で、子どもたちの活動については、少年スポーツの振興と施設の有効利用という観点から、減免などを今よりもっと積極的に行いたい。
	委員	小さい子どもは、なかなか一人で体育館など行けないため、親御さんと合わせたファミリー割引などの制度を設けてはどうか。

事務局	先ほどの話は団体利用をイメージしていたが、個人使用なども含めて検討したい。
委員	高齢者の割引はどうか。
事務局	個人使用については、65歳以上の方を対象に安い料金を設定している。使用料については、新たな負担をお願いする場合、不満が必ず出てくるが、今ほどの減免などの前向きな部分と併せてお願いしていきたい。
委員	合併地域の方々から多少の負担が増えることは仕方がないという意見を聞いたが、すべて統一ではなく、古くて規模の小さい施設などがたくさんあるので、適正な使用料に設定していただきたい。
委員	使用料をとるからには、施設だけでなく備品や消耗品もしっかりと更新していただきたい。老朽化で大変危険な備品なども見られる。お金を払っても使いたくなる施設にしていきたい。
委員	スポーツ少年団でも県外のチームなどを含めた大会は、今まで減免されなかったように思う。強化のために強豪チームを招く訳だから、その辺も検討していただきたい。
委員	川西地域の体育館建設についての考え方をお聞きしたい。
事務局	配置バランスを考えると人口がありながら少し空白地帯であるため、検討の必要性について認識している。
委員	廃止・統合については、「視野に入れた施設」という断定的な表現でよいのか。実際にそのような施設はあるのか。
事務局	資料では「視野に入れた施設」となっているが、「視野に入れるべき施設」という表現にしたい。また、使用頻度が少ないから廃止ということはないので、その辺の表現も修正したい。 住民の方の意見を聞きながら、必要ないのか、あるいは別の用途に使っていくのかなどを検討すべき施設ということである。
委員長	コミュニティスポーツを大事にするためには、施設を廃止することは相反することのようで危険である。
事務局	コミュニティスポーツという点では、合併地域の各スポーツ施設で長岡地域におけるコミュニティセンターと同じような活動が行われているのであれば、それを無理やりお金を取るということではできないのではないかと。各地域にコミュニティセンターを建設することは難しいことである。その辺の利用実態などを見ながら検討する必要がある。
委員	使用頻度が低い施設は、廃止よりもソフト事業などを積極的にやることで有効活用すればよいのではないかと。
事務局	施設そのものよりも、提供の仕方や組み合わせなどが悪いこともあるので工夫したい。
委員	トレーニング施設は女性にとって少し入り難いという話を聞いた。女性専用施設などよいのでは。ストレッチする場所だけでもあるとよい。
事務局	民間施設で何箇所かあることは承知している。専用は難しくても仕切りを設けたり、できる部分は工夫していきたい。
委員	河川公園は、今後水害にあった場合どうなるのか。
事務局	程度によると思うが、莫大な費用がかかる場合は考えなければいけない。直すにしても直し方も含めて考える必要がある。

委員	施設が無料だから自分たちで清掃などしている感覚があるので、有料にした場合、利用者の意識として清掃や後片付けが悪くなったりするのではないか。
委員	人材育成の話が出ているが、簡単なことではない。具体的な考えはあるか。
事務局	人材というのは専門指導者だけではなく、リーダーになる人も含めて考えている。時間は必要だが、教室事業を展開しその参加者の中からリーダーを養成し方法も過去にも行っている。 コミュニティでの健康づくりであれば、中央からの先生ではなく、そのような地域の方から運営をしていただきたい。
委員	地域やボランティアによる施設管理は可能なのか。
事務局	ボランティアという表現は少し誤解が生じるかもしれないが、地域の実際に使用される方々で鍵の管理や清掃をしっかりと行っていくということである。 現在、そのような管理を行っている施設もあり、地域の方以外が使用したい場合は、区長さんなどが窓口となって管理をしている。
委員	学校施設をもっと活用できないか。
事務局	現在、学校体育施設の開放は空きがない状態であるので、十分に活用できている。今後は、空き教室などもうまく活用できればよいが、管理の面で難しい部分もある。
9 会議資料	別添のとおり